



じぶんの町を良くするしくみ。

赤い羽根共同募金

TAKARAZUKA



©Tezuka Productions

2026

ユニコ

×

赤い羽根共同募金



手塚治虫『ユニコ』

1976年に連載開始。伝説の一角獣の子どもユニコが、時空を超えて旅をするファンタジー物語。

2026年、ユニコは連載開始から50周年を迎えました！



©Tezuka Productions



ユニコ×赤い羽根 オリジナルバッジ

1,000円以上募金された方で希望者にお渡しします。(市総合福祉センターにて)

ユニコといっしょにやさしさを届けよう！

たすけあい・思いやりの意味が込められた『赤い羽根共同募金』と、助けてくれた人々を幸せにする、やさしくて不思議な『ユニコ』が安心して暮らせるまちづくりに向けて、力を合わせることになりました。ユニコといっしょに、やさしさの輪を広げましょう！

赤い羽根
共同募金月間

10/1^木～11/30^月

宝塚市共同募金委員会

(宝塚市社会福祉協議会内)

〒665-0825 宝塚市安倉西2丁目1-1

TEL:0797-86-5000 FAX:0797-86-5069 MAIL:shakyo@nifty.com

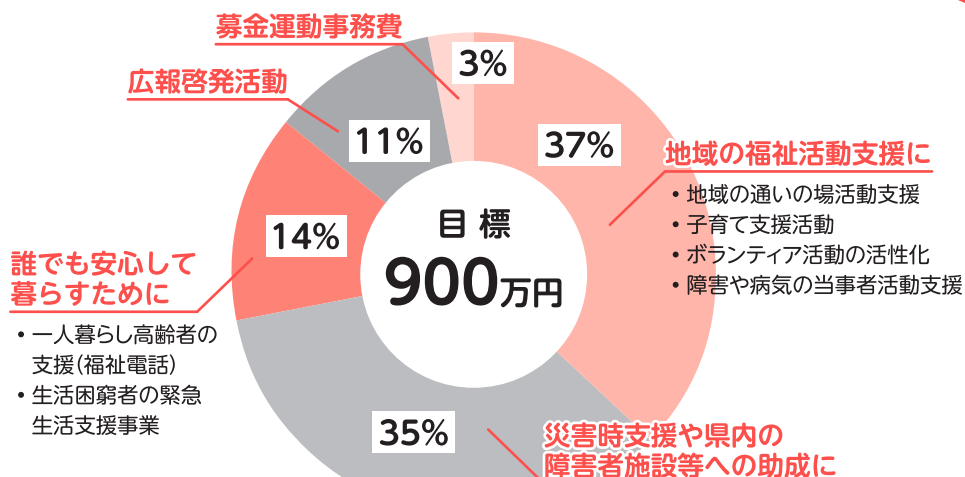


宝塚のまちとひとを、支える募金

「ひとりで食事をするのが寂しい」

「子育て中のしんどさ、誰かと共感したい」

そんな声から始まった地域の福祉活動が、宝塚にはたくさんあります。赤い羽根共同募金は、こうした身近な困りごとに寄り添う活動を支えています。



令和8年度募金の使い道

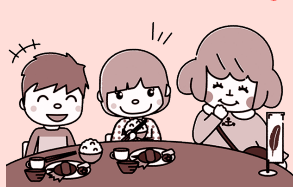
● 募金を活用し、地域をもっとよくする福祉活動

活用例1

親子のほっとできる居場所づくり

子育て中の親子が孤立したり、悩みを抱え込むことなく、地域とつながりながら、安心して子育てできる環境づくりを支援しています。

「親子の居場所づくり」の実際の様子はこちら



活用例2

自分らしく暮らし続けるための通いの場づくり

ひとり暮らしや外出の機会が少ない方が増える中、高齢者をはじめ誰もが集えるサロンでの交流と見守りを支えています。

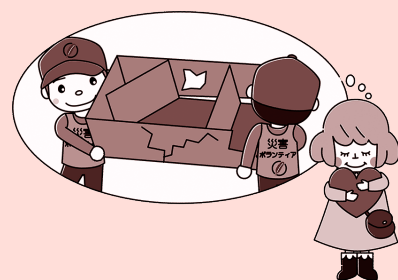
「地域の通いの場づくり」の実際の様子はこちら



活用例3

兵庫県共同募金会の災害支援など

地震などの被災地支援にも役立てられているほか、災害時の備えとしても共同募金が活用されています。



● 募金を活用した福祉活動について、詳しくは 宝塚共同募金 で検索

● 募金のご協力方法

- 総合福祉センターや社協各拠点へのご持参、または自治会・団体を通じたご協力
- 市内の公共施設等に設置されている募金箱や街頭募金でのご協力
- インターネットやPayPayからの募金



PayPay



インターネット
募金

宝塚市共同募金委員会

(宝塚市社会福祉協議会内)

〒665-0825 宝塚市安倉西2丁目1-1

TEL: 0797-86-5000 FAX: 0797-86-5069 MAIL: shakyo@nifty.com